

施策マネジメントシート1(23年度目標達成度評価)

作成日 平成 24 年 5 月 30 日  
更新日 平成 24 年 7 月 11 日

総合計画体系	政策No.	4	政策名	みんなで元気に笑顔あふれるまちづくり	施策統括部	教育部	部長名	大島 泉
	施策No.	22	施策名	生涯スポーツの推進	施策主管課	生涯学習課	課長名	上原 哲也
					関係課	市民課、学校教育課、人権啓発教育課、会計課、監査委員事務局		

1 施策の目的と指標

① 対象(誰、何を対象としているのか) \* 人や自然資源等  
市民

② 意図(対象がどのような状態になれば良いのか)  
生涯にわたって目標・目的を持ち、スポーツを行なっている

成果指標の測定企画(実際にどのように実績値を把握するか)

市民意識調査により把握  
設問 : 「あなたは目標・目的を持って実際にスポーツを行なっていますか？」  
選択肢: ①週に2回以上行なっている、②週に1回行なっている、③月に2、3回行なっている  
④月に1回行なっている ⑤ほとんど行なっていない  
※「スポーツ」とは、学校や職場、地域社会の中で行われる組織的なスポーツ活動だけでなく、個人的なスポーツ活動も含みます。  
(目標・目的を持って実際にスポーツを行っている人の割合=①~③を回答した人数/全回答者数)

③ 対象指標(対象の大きさを表す指標) \* 数字は記入しない

名称	単位
A 人口	人
B 市外からの通勤・通学者数	人
C	

④ 成果指標(意図の達成度を表す指標) \* 数字は記入しない

名称	単位
A 目標・目的を持って実際にスポーツを行なっている人の割合	%
B	
C	
D	
E	
F	

2 指標等の推移

指標名	単位	数値区分	21年度現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
対象指標	A	人	見込み値 実績値	56,281 56,638	56,829	57,377	57,925	58,474
	B	人	見込み値 実績値					
	C		見込み値 実績値					
成果指標	A	%	成り行き値 目標値 実績値	32.8 34.0 41.9	32.8 36.0	32.8 38.0	32.8 40.0	32.8 42.0
	B		成り行き値 目標値 実績値					
	C		成り行き値 目標値 実績値					
	D		成り行き値 目標値 実績値					
	E		成り行き値 目標値 実績値					
	F		成り行き値 目標値 実績値					
事務事業数			本数	21	21	20	20	20
施策コスト	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	21,367	43,415	20,856	23,219	23,219
		繰入金	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	75,108	62,514	82,546	92,262	81,062	
	事業費計(A)	千円	96,475	105,929	103,402	115,481	104,281	
	(A)のうち指定経費	千円	17,403	17,403	15,688	14,735	14,735	
	(A)のうち時間外、特殊勤務手当	千円	577	887	950	950	950	
人件費	延べ業務時間	時間	7,268	6,985	6,622	6,582	6,582	
人件費計(B)	千円	29,339	28,770	27,275	27,111	27,111		
トータルコスト(A)+(B)			千円	125,814	134,699	130,677	142,592	131,392

基本計画期間における施策の目標設定とその根拠(水準の理由と前提条件)  
A: 目標、目的を持って実際にスポーツを行なっている人の割合について、成り行き値は、経済状況が不安定なことを考慮して、平成21年度の実績値である32.8%で今後も推移すると考え設定した。  
目標値は、高齢化が進み、余暇を利用してレクリエーションスポーツに親しむ人が増えると予想されることに加えて、手軽に取り組めるニュースポーツの周知と普及促進をすすめ、ひろくスポーツに取り組める環境を整えること、各種団体の周知を図り、団体参加を促すこと、人材を発掘し、人材の活用を進めること、既存の施設を検証し、多くの人の利活用ができるような仕組みと有効な施設利用を図ること、平成22年度の第1期の学習とスポーツを含めた目標値である42%を、平成27年度の目標値として設定した。

基本計画期間における施策の方針  
①市民が自ら生涯スポーツに取り組みやすい環境づくりにつとめる。  
②豊かな心をもつ人を育み、生きがいを見つげられる生涯スポーツの推進。

## 施策マネジメントシート2(23年度目標達成度評価)

生涯スポーツの推進

### 3 施策の特性・状況変化・住民意見等

【1】この施策の役割分担をどう考えるか(協働による住民と行政の役割分担)

- ア)住民(事業所、地域、団体)の役割(住民が自助でやるべきこと、地域やコミュニティが共助でやるべきこと、行政と協働でやるべきこと)
- ・市民は、市主催または地域主催等の色々な事業に参加する。
  - ・市民は、体力向上(競技力向上)のため、目標を持って取り組む。
  - ・地域は、レクリエーションやスポーツ活動を開催する。
  - ・団体と事業所は、スポーツイベントや各種スポーツ教室等を開催する。

イ)行政の役割(市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)

- ・各種スポーツ大会の開催と支援
- ・各種ニュースポーツの紹介など、生涯スポーツのきっかけづくりとしての事業の実施
- ・各種施設の計画的な整備と管理・運営
- ・競技別リーダーの育成

【2】施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は今後どのように変化するか?(平成27年度を見越して)

- ・高齢化がさらに進むことで、自分の体力にあったスポーツに親しんだり、参加する人が増えると予想される。
- ・施設の老朽化が進み、維持管理費の増加が予想される。
- ・地域では、レクリエーションスポーツの実施が増えているが、今後もこの傾向は続く予想されるので、種目ごとに必要な器具や用具の備えが必要になってくる。

【3】この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?

- ・市民から、各種スポーツ教室の内容拡充の要望が多い。
- 【平成23年度の施策評価(22年度振り返り)における総合政策審議会意見】

1. 健康づくりの観点(視点)からのスポーツの推進も必要ではないか。
2. 市民が目標・目的をもって取り組めるような方策の検討が必要である。

【平成23年度の施策評価(22年度振り返り)における議会意見】

1. 健康づくりや医療費削減にもつながる目標設定を行ない目標達成のための啓発をすべきである。
2. 市体育協会の今後について方向づけをすべきである。

### 4 施策の評価

【1】施策の目標達成度(23年度目標と実績との比較)

A → ○【目標・目的を持って実際に学習やスポーツを行っている人の割合】  
: 目標値34.0%に対し実績値41.9%であり、達成度は123.2%であった。

※左記の背景として考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)

市民が健康意識をもってスポーツを行っていることと、スポーツ推進委員による啓発の成果があったものと考えられる。

※○:目標達成 △:目標をほぼ達成(-5%程度) ×:目標を未達成

【2】施策の振り返り(施策の方針、経営方針の達成度等)

- (1) 平成23年度経営方針である、①「様々なスポーツイベントを開催することで、市民の交流を図る」については、各区対抗ニュースポーツ大会、スポーツフェスティバル、健康カントリーマラソン大会、春のウォークラリー大会などのスポーツイベントを開催し、市民及び各区の交流を図った。
- ②「より多くの市民が講座に参加するように、各種講座の啓発活動に努める」については、前期、後期の講座募集を各世帯に配布し市民に対する啓発を行った。

- (2) 事務事業貢献度評価の結果では、平成23年度施策の成果を向上させるために最も貢献した事務事業として、春ウォーキング大会開催事業があげられ、貢献した事務事業にはふれあいスポーツ広場開催事業と健康カントリーマラソン大会開催事業があげられた。

**【3】 施策の課題(基本計画期間を見据えて、どのような課題を解決していかなければならないか)**

- ・平成24年度に熊本県民体育祭が菊池地域を会場として開催されるが、本市での実施体制や施設の整備が必要になる。
- ・各種施設、設備の老朽化に伴う、計画的な施設、設備の改修
- ・地域では、レクリエーションスポーツの実施が増えているが、ニーズに合ったレクリエーションスポーツや学習の情報提供や支援に努める。

**5 施策の23年度結果に対する審査結果**

**① 政策推進本部での指摘事項(施策目標達成度評価結果報告を受けて・・・平成24年7月11日)**

- ・総合型地域スポーツクラブの活動をより活性化していくことが必要である。
- ・より多くの市民が気軽に参加できるような新たな取り組みを検討していく必要がある。
- ・スポーツ指導者の育成が必要である。

**② 総合政策審議会での指摘事項(平成24年7月25日、8月3日、8日まとめ)**

- ・生涯スポーツやスポーツ推進委員などの役割を、市民へ広く知らせること。
- ・指導者の育成と施設やメニューの充実を力を入れ、生涯スポーツの環境づくりを推進すること。
- ・さらなる生涯スポーツの推進を図るため、関係機関との連携を進めていくこと。

**③ 議会の行政評価における指摘事項(平成24年9月21日)**

- ・市民(老若男女)が楽しく参加できるスポーツの考案が必要。

**6 次年度に向けた取り組み方針**

**● 政策推進本部 平成25年度合志市経営方針(平成24年10月9日)**

1. 総合型地域スポーツクラブや体育協会等の社会体育と学校部活動の連携を推進する。
2. 様々なスポーツイベントを開催することで、市民の交流と健康づくりを推進する。
3. より多くの市民が参加しやすいように、各種スポーツ教室の内容充実と啓発に努める。

施策マネジメントシート3(23年度目標達成度評価)

基本事業名	70 スポーツの啓発	基本事業担当課	生涯学習課
-------	------------	---------	-------

対象	取り組んでいない市民	意図	施設やスポーツの内容を知ることができる
----	------------	----	---------------------

成果指標名	単位	数値区分	21年度 現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
A	%	(成り行き値)目標値		(62.3) 63.3	(62.3) 64.0	(62.3) 64.7	(62.3) 65.3	(62.3) 66.0
		実績値	62.0	58.3				
B		(成り行き値)目標値						
		実績値						
C		(成り行き値)目標値						
		実績値						

7 基本計画期間における基本事業の目標設定(水準設定の理由と前提条件)

A:スポーツに取り組んでいない市民を対象に、手軽に取り組めるニュースポーツの周知と普及促進を進め、広くスポーツに取り組める環境を整えることで、スポーツに取り組んでいないが今後取り組んでみたいと思う市民の割合を、平成27年度までに、66%(2/3程度)まで上げることが目標として設定した。

8 基本事業の23年度の振り返り(目標達成度評価)と25年度に向けての課題

市民の健康に対する高まりによってスポーツに取り組む市民が増えているのは、スポーツ体験教室や、行事等の参加者増からも見ることができる。今後、目標値を上回っていくために、カローリングなどのニュースポーツの普及や施設・備品等の老朽化の整備を進めていく必要がある。

基本事業名	71 スポーツへの参加機会の提供	基本事業担当課	生涯学習課
-------	------------------	---------	-------

対象	市民	意図	スポーツに参加する機会がある
----	----	----	----------------

成果指標名	単位	数値区分	21年度 現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
A	%	(成り行き値)目標値		(45.3) 46.8	(45.3) 47.6	(45.3) 48.4	(45.3) 49.2	(45.3) 50.0
		実績値	45.2	44.9				
B		(成り行き値)目標値						
		実績値						
C		(成り行き値)目標値						
		実績値						

7 基本計画期間における基本事業の目標設定(水準設定の理由と前提条件)

A:手軽に取り組めるニュースポーツの周知と普及促進を進め、広くスポーツに取り組める環境を整えることで、少なくとも半数の市民がスポーツに親しむ機会があると思うようになることを目標として、平成27年度の目標値を50%と設定した。

8 基本事業の23年度の振り返り(目標達成度評価)と25年度に向けての課題

今後も市民のニーズにあった、事業・大会の開催により学習機会の提供に努める。ニュースポーツ大会やスポーツフェスティバルにより、簡単に取り組めるニュースポーツへの関心が高まり、区や団体のレクリエーションでの取り組みが増加し、スポーツに親しむ市民の割合が増加したと思われるが、今後も更に啓発・普及に取り組んでいく必要がある。

基本事業名	72 スポーツ団体の育成	基本事業担当課	生涯学習課
-------	--------------	---------	-------

対象	取り組んでいる市民	意図	・スポーツに取り組む仲間ができる ・スポーツの指導者になる
----	-----------	----	----------------------------------

成果指標名	単位	数値区分	21年度 現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
A	%	(成り行き値)目標値		(42.2) 44.0	(42.2) 45.0	(42.2) 46.0	(42.2) 47.0	(42.2) 48.0
		実績値	42.2	39.5				
B	%	(成り行き値)目標値		(3.8) 4.0	(3.8) 4.2	(3.8) 4.4	(3.8) 4.6	(3.8) 4.8
		実績値	3.8	1.4				
C		(成り行き値)目標値						
		実績値						

7 基本計画期間における基本事業の目標設定(水準設定の理由と前提条件)

A:施策の成果指標である「目標・目的を持って実際にスポーツを行っている人の割合」の伸び率を参考に、市民やスポーツ体験教室参加者を通じて総合型地域スポーツクラブ、各種スポーツの自主サークルのPRを強化し、団体への参加を促すことにより、平成27年度の目標値を48%に設定した。  
B:施策の成果指標である「目標・目的を持って実際に学習を行っている人の割合」の伸び率を参考に、人材を発掘し、今後計画されている人財バンクへの登録により、人材の活用を進めることで、平成27年度の目標値を4.8%に設定した。

8 基本事業の23年度の振り返り(目標達成度評価)と25年度に向けての課題

・施設によっては、空きがない程サッカー・野球・ソフトボール等、各団体が利用されているが、利用団体が固定化されてきているため、総合型地域スポーツクラブへの加入促進を図るなどにより、目標達成を図っていく必要がある。  
・指導者の育成を今後検討していく必要がある。

施策マネジメントシート3(23年度目標達成度評価)

基本事業名	73 スポーツ施設(環境)の整備	基本事業担当課	生涯学習課
-------	------------------	---------	-------

対象	市民	意図	活動する場がある
----	----	----	----------

成果指標名	単位	数値区分	21年度 現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
A	スポーツに親しむ施設が整っていると 思う市民の割合	%	(成り行き値)目標値	(57.3) 58.0	(57.3) 58.5	(57.3) 59.0	(57.3) 59.5	(57.3) 60.0
			実績値	57.3	59.2			
B			(成り行き値)目標値					
			実績値					
C			(成り行き値)目標値					
			実績値					

7 基本計画期間における基本事業の目標設定(水準設定の理由と前提条件)

A: 老朽化した施設の改修に取り組むことや、種目に応じた施設の周知を更に進めること、既存のグラウンドが市民の要望に合ったものであるか検証し、多くの人の利活用ができるような仕組みを作り、有効な施設利用を図ることで、60%を平成27年度の目標値として設定した。

8 基本事業の23年度の振り返り(目標達成度評価)と25年度に向けての課題

快適に利用できるよう各施設の維持管理に努めた。今後は、老朽化した施設の改修を計画し、親しみやすい施設の整備に努める。

基本事業名		基本事業担当課	
-------	--	---------	--

対象		意図	
----	--	----	--

成果指標名	単位	数値区分	21年度 現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
A			(成り行き値)目標値					
			実績値					
B			(成り行き値)目標値					
			実績値					
C			(成り行き値)目標値					
			実績値					

7 基本計画期間における基本事業の目標設定(水準設定の理由と前提条件)

8 基本事業の23年度の振り返り(目標達成度評価)と25年度に向けての課題

基本事業名		基本事業担当課	
-------	--	---------	--

対象		意図	
----	--	----	--

成果指標名	単位	数値区分	21年度 現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
A			(成り行き値)目標値					
			実績値					
B			(成り行き値)目標値					
			実績値					
C			(成り行き値)目標値					
			実績値					

7 基本計画期間における基本事業の目標設定(水準設定の理由と前提条件)

8 基本事業の23年度の振り返り(目標達成度評価)と25年度に向けての課題